



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 コーエーテックホールディングス株式会社

コード番号 3635 URL <http://www.koeitec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 襟川 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO

(氏名) 浅野 健二郎

TEL 045-562-8111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,635	23.2	712	—	862	—	412	—
23年3月期第2四半期	11,069	△27.5	△1,656	—	△1,097	—	△571	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △5,354百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,466百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.75	4.75
23年3月期第2四半期	△6.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	67,679	62,130	91.8	716.12
23年3月期	77,487	69,761	89.9	803.37

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 62,099百万円 23年3月期 69,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.1	5,000	51.3	6,500	35.8	3,600	31.3	41.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	89,769,479 株	23年3月期	89,769,479 株
24年3月期2Q	3,052,985 株	23年3月期	3,052,034 株
24年3月期2Q	86,717,086 株	23年3月期2Q	86,719,050 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成23年11月10日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全体として回復が弱まっており、先行きの不透明感が増しております。わが国経済につきましては、東日本大震災後の電力供給の制限や原子力災害の影響が残るなか回復が進みましたが、円高の進行や長引く株安などを受けて、景気の持ち直しは緩やかなテンポにとどまりました。

ゲーム業界におきましては、2011年度の家庭用ゲーム市場規模が上半期としては4年連続のマイナスとなり、ソフト・ハードともに前年実績を下回りました。その中でハード市場では、ニンテンドー3DSが本体価格の値下げや年末の大型タイトル発表による期待感から販売台数を伸ばす一方、12月にはPlayStation Vitaの発売が予定されており、今後各社から新型ハードの普及を促すタイトルが数多く提供されることにより、市場の活性化が期待されます。ソーシャルゲーム市場は、国内では魅力的なタイトルの増加や急速に普及するスマートフォンへの対応などが進み、依然高成長を遂げております。また、SNS大手各社が海外展開を急ピッチで進めており、今後もグローバル規模でのさらなる拡大も見込まれます。その反面、競争は激しさを増しておりますが、柔軟且つ迅速な開発体制を敷き、高品質で認知度の高いコンテンツを投入できる事業会社が一層存在感を高めております。

このような経営環境下において、当社では経営方針「成長性と収益性の実現」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。急成長するオンライン・モバイル事業では、ソーシャルゲームが主力タイトルを中心に好調を維持するとともに、ゲームソフト事業においても、リリースした各タイトルが概ね堅調に推移いたしました。その結果、ゲームソフト事業及びオンライン・モバイル事業は大幅な増収増益を果たしました。また、徹底的にコスト管理を進めたことで、主要経費は前年実績を下回るなど収益性の改善も進みました。これらにより、当社グループの当第2四半期業績は、売上高136億35百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益7億12百万円（前年同期は営業損失16億56百万円）、経常利益8億62百万円（前年同期は経常損失10億97百万円）、四半期純利益4億12百万円（前年同期は四半期純損失5億71百万円）となり、経営統合後初となる上半期黒字化を達成いたしました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 89億6百万円 セグメント利益 5億14百万円

コーエー「GI JOCKEY」シリーズとテクモ「Gallop Racer」シリーズのコラボレーションによる、新たなジョッキーアクションゲーム「Champion Jockey」（PS3、Xbox360、Wii用）を日本・欧州向けにリリースし、好評を博しております。国内においては、「真・三國無双6 猛将伝」（PS3用）、「戦国無双3 Empires」（PS3用）、「真・三國無双6 Special」（PSP用）の3タイトルを発売し売上を伸ばしたほか、「信長の野望」シリーズにおいては「信長の野望 蒼天録 with パワーアップキット」（PSP用）を発売しております。海外においては、「ガンダム無双3」を始めとする既発売タイトルのリピート販売が堅調に推移いたしました。

新旧タイトルの販売が好調だったことに加え、「真・三國無双6」の追加ダウンロード売上が伸びたことなどから、前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

オンライン・モバイル事業 売上高 28億35百万円 セグメント利益 5億24百万円

ソーシャルゲーム事業においては、「100万人」シリーズが各タイトルとも着実にユーザー数を伸ばしております。中でも、主力タイトルである「100万人の信長の野望」、「100万人の三國志」が引き続き好調を維持し売上を牽引しているほか、8月に配信を開始した「100万人の戦国無双」につきましても順調な立ち上がりとなっております。また、スマートフォン向けに関しましても、8月に「100万人の信長の野望」をサービスインするなど、タイトルラインナップの拡充に努めております。PC向けでは、「のぶニャガの野望」を始め、サービス中のタイトルが引き続き堅調に推移いたしました。

グローバル市場においては、中国向けに「100万人の三國志」の配信をまもなく開始するほか、北米においても「My Monster Rancher」のリリースを予定しております。当社グループは、様々なパートナーとの連携を強化しながら欧米やアジアへソーシャルゲームを積極展開することで、海外市場でのプレゼンスを高めてまいります。

オンラインゲーム事業においては、「真・三國無双 Online」を始め各タイトルとも概ね計画通り推移しており、9月に発売いたしました「信長の野望 Online 新星の章 プレミアムBOX 決戦前夜」(Windows用)も好評を得ております。

人材の効果的な配置見直しやパッケージソフトとの連携強化により収益性も改善した結果、オンライン・モバイル事業は大幅な増収増益を達成しております。

メディア・ライツ事業 売上高 5億9百万円 セグメント損失 1億91百万円

イベント事業においては、7月に「ネオロマンス・フェスタ12」、9月に「真・三國無双 声優乱舞 2011秋」及び「ネオロマンス・ライブ 2011 Autumn」を開催し多くのお客様にお楽しみいただきました。また、ネオロマンスシリーズ初のソーシャルゲームとなる「100万人の金色のコルダ」のサービスを8月より開始し、好調に推移しております。今後につきましても、コンテンツの活用を推進し積極的な事業拡大を図ります。

なお、第3四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生したことから営業損失が生じております。

S P事業 売上高 5億63百万円 セグメント利益 1億95百万円

パチンコ機「CR戦国無双 Light Edition」及び「ぱちんこRio」がリリースとなりました。今後も積極的にパチンコ・パチスロ機への著作権許諾及び液晶ソフト開発受託に取り組んでまいります。

アミューズメント施設運営事業 売上高 9億52百万円 セグメント利益 93百万円

販促活動の強化やゲーム機の導入を積極的に進めたことにより、既存店売上は引き続き堅調に推移いたしました。今後も収益力強化及び効率性向上に努めてまいります。

その他事業 売上高 1億16百万円 セグメント利益 13百万円

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して98億7百万円減少し676億79百万円となりました。これは主に、現金及び預金が56億23百万円、売掛金が38億58百万円減少したことによるものであります。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して21億76百万円減少し55億48百万円となりました。これは主に、買掛金が8億8百万円、未払法人税等が3億54百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して76億30百万円減少し621億30百万円となりました。これは主に、四半期純利益4億12百万円を計上した一方で、利益配当17億95百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が56億3百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成22年6月30日 企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成22年6月30日 企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間においては、これによる影響はありません。

(会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,685	5,062
受取手形及び売掛金	7,688	3,830
有価証券	2,578	6,882
商品及び製品	485	409
仕掛品	300	683
原材料及び貯蔵品	49	66
繰延税金資産	691	651
その他	2,927	1,539
貸倒引当金	△114	△62
流動資産合計	25,293	19,063
固定資産		
有形固定資産	13,092	12,892
無形固定資産		
のれん	2,918	2,408
その他	780	677
無形固定資産合計	3,698	3,086
投資その他の資産		
投資有価証券	32,550	29,528
更生債権等	27	26
敷金及び保証金	897	819
繰延税金資産	1,746	2,074
その他	207	214
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	35,402	32,637
固定資産合計	52,193	48,616
資産合計	77,487	67,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,763	955
未払金	1,226	1,140
未払法人税等	669	315
賞与引当金	668	499
役員賞与引当金	29	19
返品調整引当金	63	48
売上値引引当金	267	203
ポイント引当金	10	10
その他	1,836	1,236
流動負債合計	6,536	4,430
固定負債		
退職給付引当金	572	560
繰延税金負債	9	9
その他	606	547
固定負債合計	1,188	1,118
負債合計	7,725	5,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,640	24,640
利益剰余金	38,129	36,330
自己株式	△2,367	△2,368
株主資本合計	75,402	73,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,873	△7,477
土地再評価差額金	△3,101	△3,101
為替換算調整勘定	△760	△923
その他の包括利益累計額合計	△5,736	△11,502
新株予約権	95	31
純資産合計	69,761	62,130
負債純資産合計	77,487	67,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,069	13,635
売上原価	8,623	9,302
売上総利益	2,446	4,333
販売費及び一般管理費	4,102	3,620
営業利益又は営業損失(△)	△1,656	712
営業外収益		
受取利息	1,001	970
その他	304	568
営業外収益合計	1,306	1,539
営業外費用		
有価証券評価損	137	632
有価証券償還損	222	501
為替差損	255	239
その他	132	15
営業外費用合計	747	1,389
経常利益又は経常損失(△)	△1,097	862
特別利益		
新株予約権戻入益	—	73
特別利益合計	—	73
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	135	—
買取請求に伴う法定利息	—	66
特別損失合計	135	66
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,232	868
法人税、住民税及び事業税	156	363
法人税等調整額	△817	92
法人税等合計	△661	456
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△570	412
少数株主利益	0	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△571	412

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△570	412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,634	△5,603
為替換算調整勘定	△260	△163
その他の包括利益合計	△1,895	△5,766
四半期包括利益	△2,466	△5,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,466	△5,354
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,120	1,803	714	707	1,573	10,919	150	11,069	—	11,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	209	—	28	—	—	238	—	238	△238	—
計	6,330	1,803	742	707	1,573	11,157	150	11,308	△238	11,069
セグメント利益又は損失(△)	△1,623	△16	38	252	136	△1,212	67	△1,144	△511	△1,656

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△511百万円はのれんの償却額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,793	2,738	509	550	952	13,544	91	13,635	—	13,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	112	97	0	13	—	223	24	248	△248	—
計	8,906	2,835	509	563	952	13,768	116	13,884	△248	13,635
セグメント利益又は損失(△)	514	524	△191	195	93	1,135	13	1,149	△436	712

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△436百万円は、のれんの償却額△509百万円及び営業外損益への振替額72百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。